

難聴学級について

1 難聴学級の歩み

福山市の難聴学級は、「難聴の子どもたちに聞こえに配慮した細やかな教育を保障したい。」という関係者の熱意と尽力により開設されています。

1966年（昭和41年）西小学校・1971年（昭和46年）城北中学校・1972年（昭和47年）西幼稚園に開設され、現在に至っています。

2 在籍状況

学級編成	低学年		中学年		高学年		
学年	1	2	3	4	5	6	計
人数(人)	1	1	0	3	2	0	7

※ 教諭3名・障害児指導員3名による指導

3 難聴学級の特性

(1) 聞こえを補償するための手立てを工夫しています。

(2) 特別な教育課程（自立活動）では、言語訓練（聴能訓練）をしています。

(3) 通常学級との交流及び共同学習を通して、ともに学び合う態度を育てています。

4 難聴学級の運営

カリキュラムの編成

学年単位で小学校学習指導要領に準じたカリキュラムを編成。
自立活動は年間35時間設置。言語聴覚士による聴能・言語訓練実施。

指導教科・形態

国語，算数，道徳，学活は担任。
社会，音楽は障害児指導員。総合的な学習・生活科・理科などは，交流学級で学級担任とのT・Tによる指導。自立活動では，言語聴覚士による聴能・言語訓練も実施。

聴覚補償の手立て

視覚的教材の工夫・FM送信機・補聴器の使用。スクリーンでの字幕提示（全校集会など）。手話・指文字（障害児指員による）。交流学級でのT・T指導。
交流学級の担任同士の連携。

5 設備等

教室：エアコン，絨毯，FM送信機（受信機は個人用）
電子黒板，書画カメラ

体育館：字幕提示(大型スクリーン)
ウォールパイロット（周波数同期システム）



6 研修等

校内研修（道徳・特別支援教育推進部）
わかりあう集会（全校集会）
研修講座への参加
福山聴覚障害教育研究協議会への参加

